

築35年シート防水漏水現場  
施主からの話では、「防水工事を既に3,4回行っ  
ているが、すぐに雨漏れが起きる」とのこと。





ドレン廻りや、立上り部、パラペットの劣化が激しい。ビスやドレン廻りにはコーキング処理が施してあるが、隙間や欠損が見られる。







コーキングの箇所や、シート防水のジョイント部分、防水の立上り部分、各部取り合い部分全てにファブリックメッシュで下地処理を施した後、ガーディアン（緑）を塗布する。

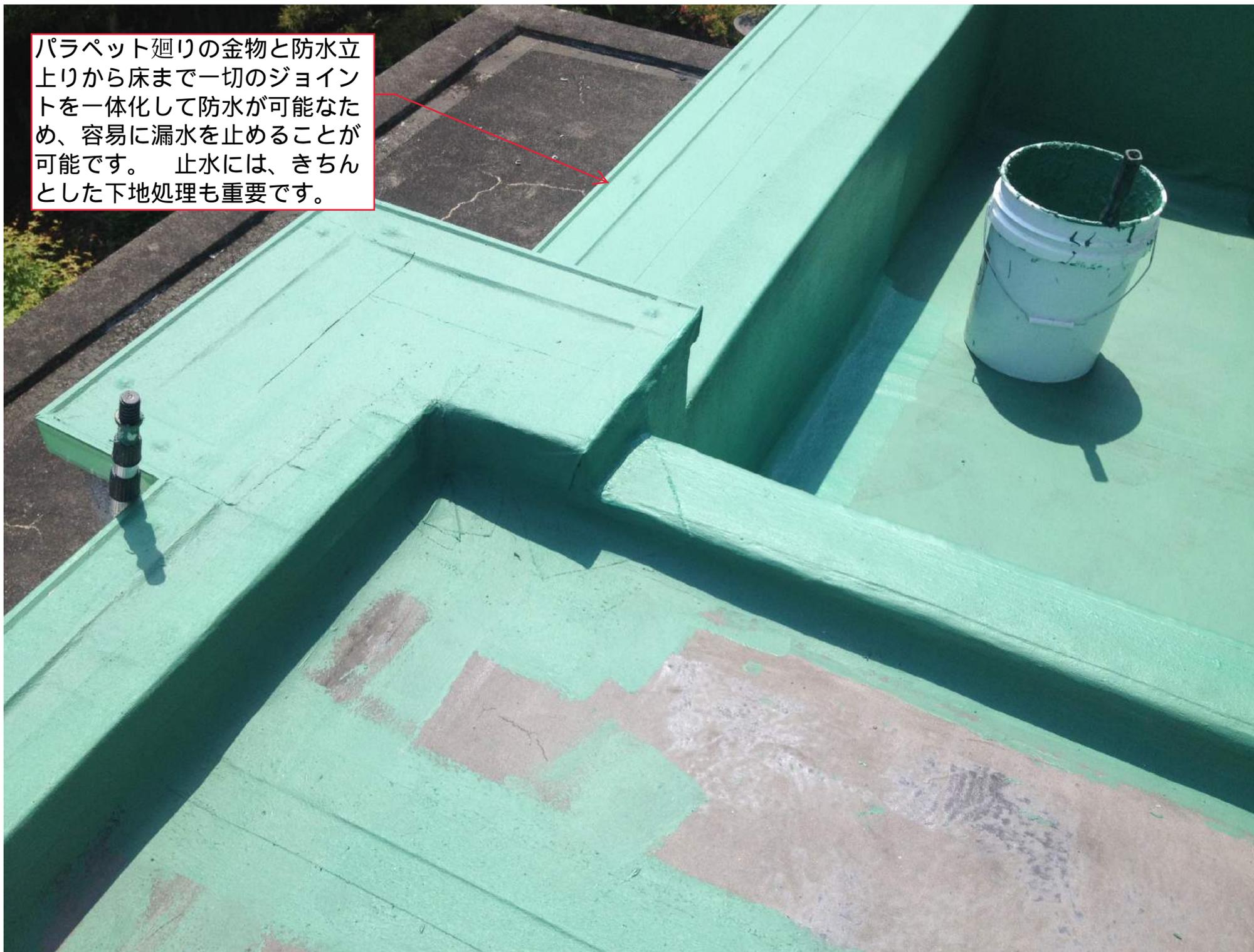




～ 下地処理中写真～

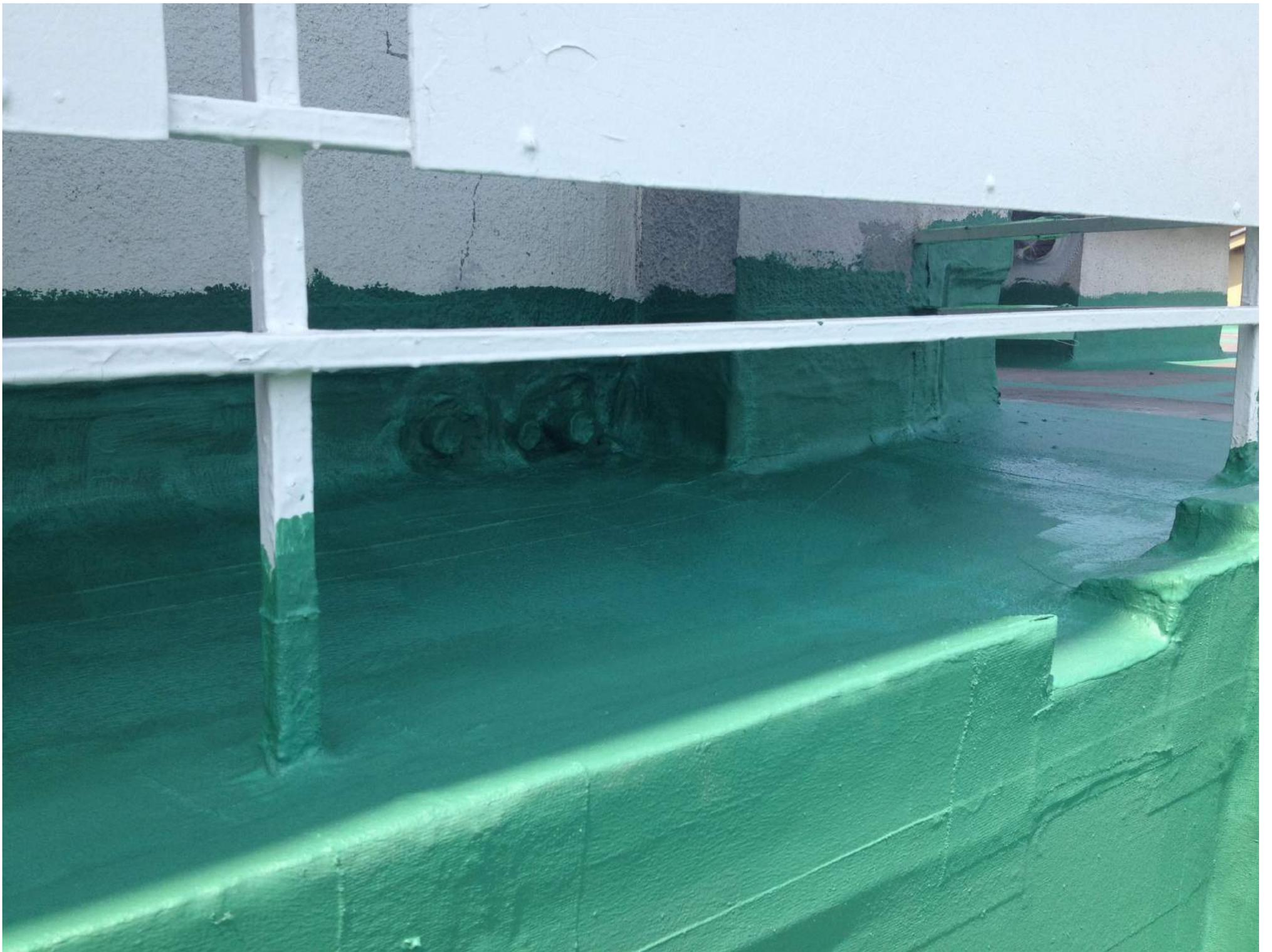
既存シート防水を剥がさずに、ジョイントや各部納まり（取り合い部）をファブリックメッシュとGJSで処理。写真は、ガーディアンまで先に塗布してあります。

パラペット廻りの金物と防水立  
上りから床まで一切のジョイント  
を一体化して防水が可能なた  
め、容易に漏水を止めること  
が可能です。 止水には、きち  
んとした下地処理も重要です。













ガーディアン防水は、耐候性、  
追随性に優れますが、強度は低  
いため、必ず下地防水として使  
用し、ガーディアンの保護の  
為、仕上を塗布して下さい。



2014.6 竣工

